

豊岡市長期財政見通しの概要（2019 年 8 月策定）

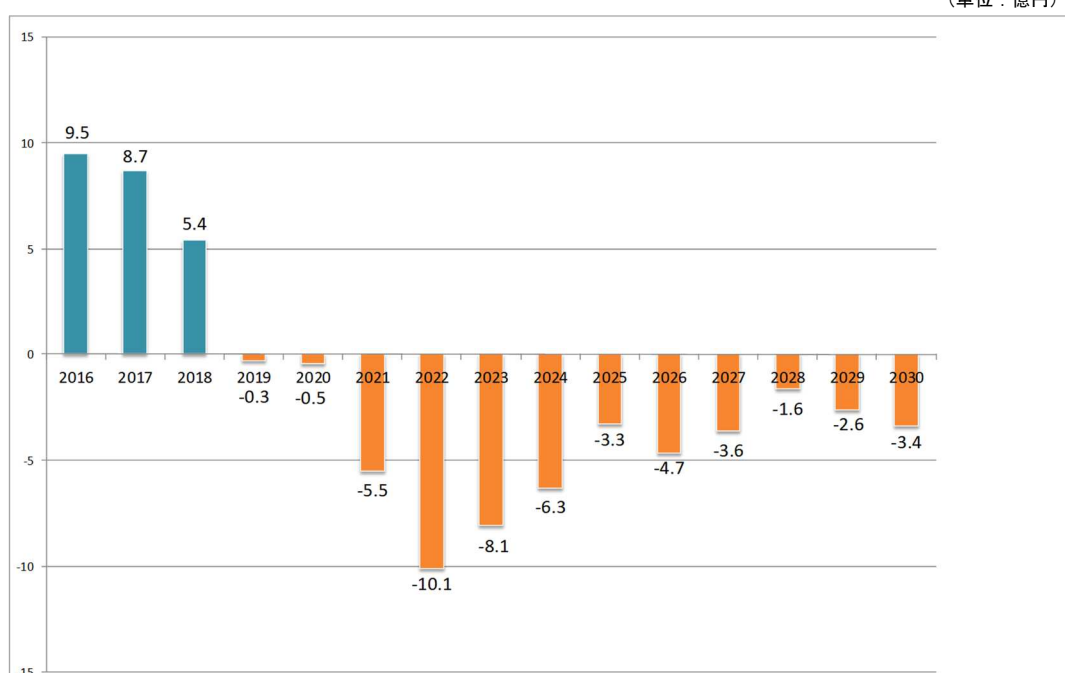
1 歳計剰余金の見通し（前回見通しとの比較）

2018 年 8 月に策定した長期財政見通しでは、2019 年度以降は歳出に対して、歳入が不足することから赤字に転じ、2022 年度には 10.1 億円の赤字であった。本年度の見通しでも、2019 年度に赤字に転じ、2022 年度には 11.2 億円の赤字が見込まれる。

前回の見通しと比較し、歳入では普通交付税が減額し、歳出では扶助費、繰出金等の増額が見込まれる。見通し期間が重複する 2018 年度から 2030 年度では年度平均約 1 億円の赤字の増加が見込まれる。

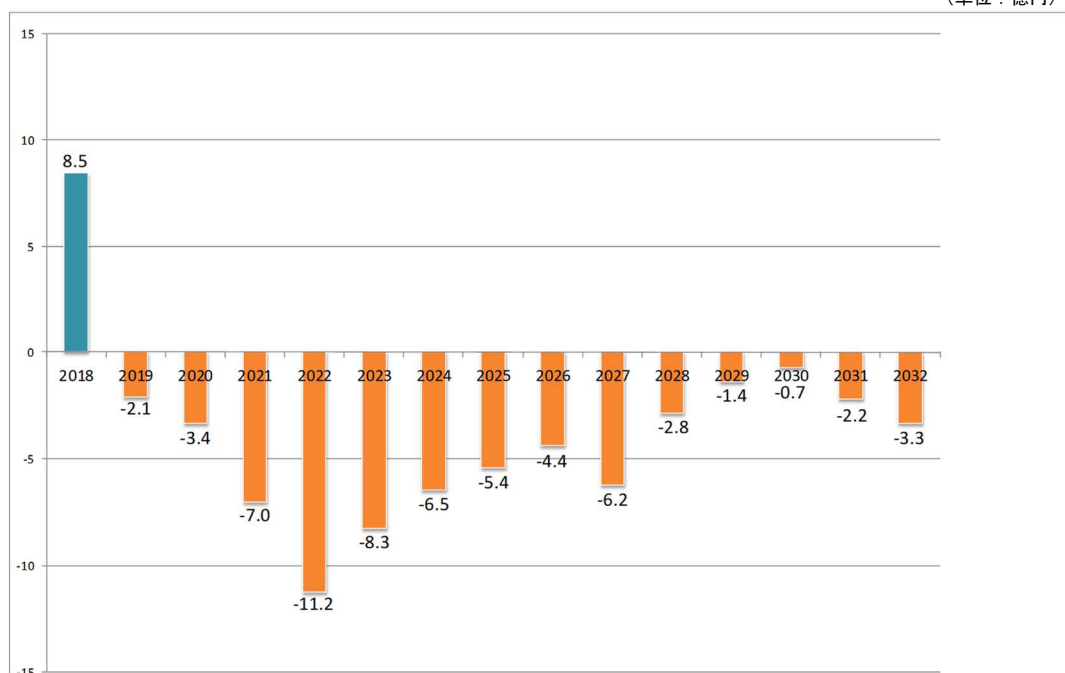
前回（2018. 8）

（単位：億円）



今回

（単位：億円）

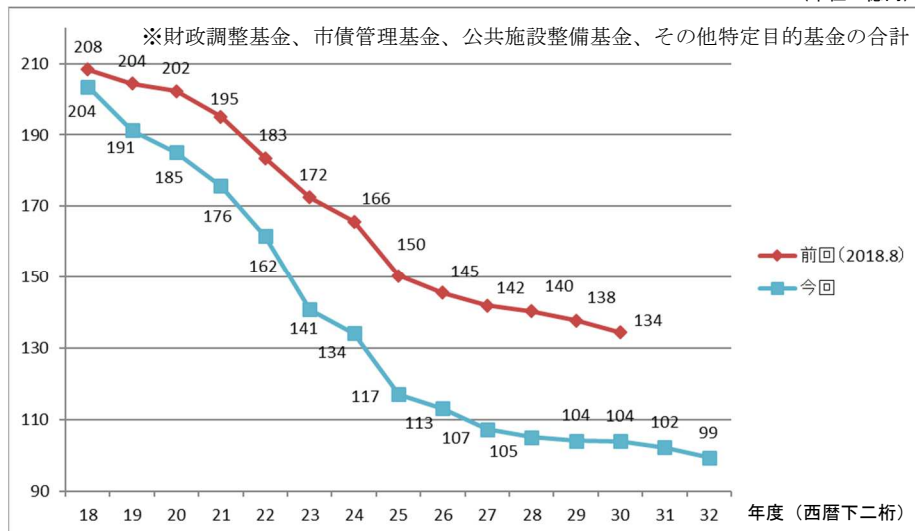


2 年度末基金残高の見通し（前回見通しとの比較）

長期財政見通しでは、黒字分は基金に積み立て、赤字分は基金を取り崩すこととしているため、財政調整基金、公共施設整備基金の取り崩しにより、前回（2018.8）の見通しに比べ基金残高は、さらに減額となる見通しである。

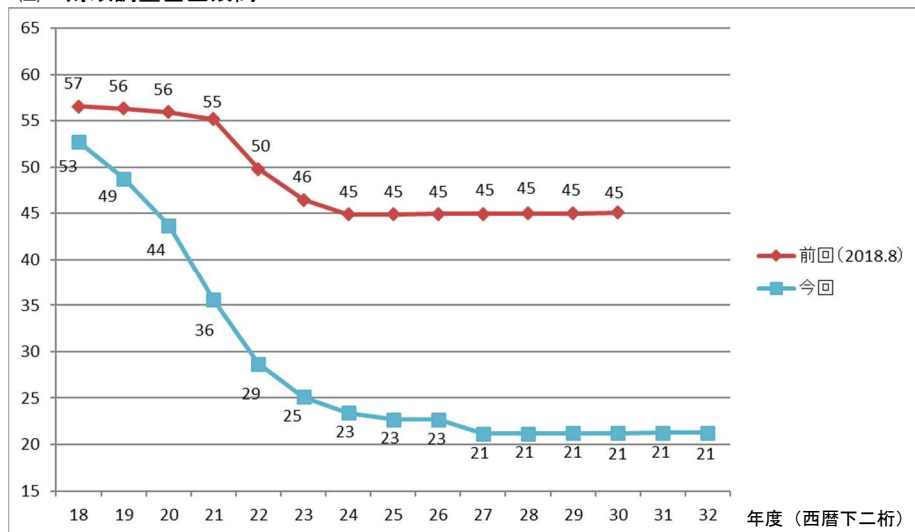
(1) 全基金残高

（単位：億円）



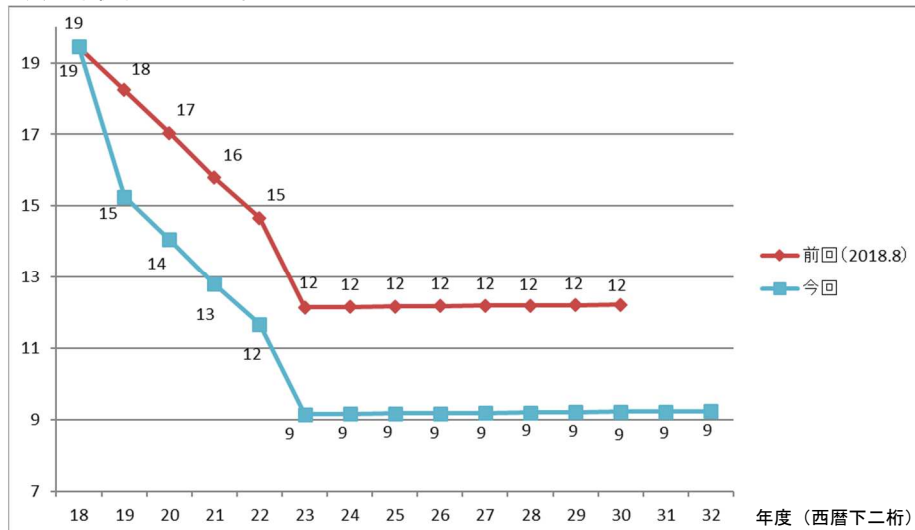
(2) 財政調整基金残高

（単位：億円）



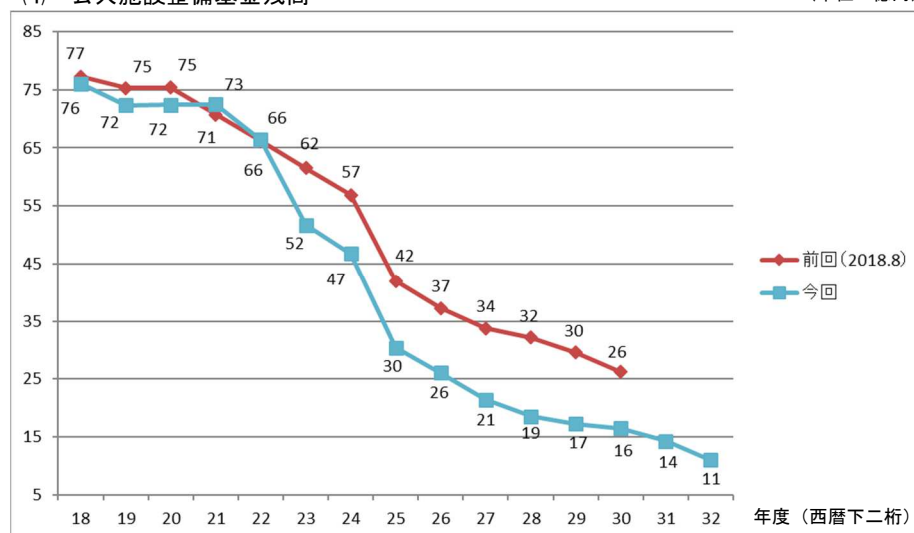
(3) 市債管理基金残高

（単位：億円）



(4) 公共施設整備基金残高

(単位：億円)



3 歳入（前回見通しとの比較）

普通交付税

国の「経済財政運営と改革の基本方針 2018」（骨太方針）（2018.6 閣議決定）において、地方の一般財源総額が 2021 年度まで 2018 年度と同水準を確保することとされていることや算入公債費の減少を見込み、前回（2018.8）の見通しに比べ減額となる見通しである。

(単位：百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
今回	15,273	15,071	15,181	15,038	14,839	14,613	14,593
前回	15,273	15,127	15,152	15,139	14,882	14,763	14,858
増減	0	△56	29	△101	△43	△150	△265

4 歳出（前回見通しとの比較）

扶助費

各課積算を積み上げて算定。社会保障関係経費の増加を見込み増額となる見通しである。

(単位：百万円)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
今回	2,048	2,166	2,280	2,323	2,340	2,358	2,376
前回	2,118	2,168	2,236	2,255	2,270	2,286	2,305
増減	△70	△2	44	68	70	72	71